

平成29年度次世代アントレプレナー育成事業のコンソーシアム一覧

プログラム名称 (コンソーシアム名)	実施機関		総括責任者	プログラムの概要
	主幹機関	協働機関		
“EARTH on EDGE” ～東北・北海道からの起業復興～	東北大学	北海道大学、小樽商科大学、京都大学、神戸大学、宮城大学	矢島 敬雅 (東北大学)	目指すべきアントレプレナー像は、機関共通の「実学精神」をベースに各機関の重視する教育プログラムをコンソーシアム全体に相乗的協働して育成を図る。例えば、東北大学はバイオデザイン、北海道大学はHult Prize等、京都大学はオーリン工科大学等の海外先進的なアントレプレナーシッププログラムを実施する中で、機関内及びコンソーシアムに先進的アントレプレナーシップの醸成と展開を図っていく。加えて当該先進的取組みを活かし、東北大学、北海道大学、京都大学及び医療における先進地域である神戸大学が有する世界産先端の基礎・応用研究力・成果を相乗的に働かせて、地域・日本・世界の課題解決への社会実装を加速する事業化支援プログラムを展開し、大学発ベンチャー創出を加速する。また、小樽商科大学と宮城大学は、地域に根差したニーズの共有・分析を行い、東北・北海道の社会課題解決に取り組む。 本コンソーシアムは、東北・北海道の地域性を活かし、このようなアントレプレナー人材の育成及び社会実装に本プログラムを推進する。
産官学グローバル連携によるEDGE NEXTプログラム (Global Tech EDGE NEXT)	東京大学	筑波大学、お茶の水女子大学、静岡大学	各務 茂夫 (東京大学)	本プログラム主幹機関は、EDGEプログラムを牽引し、多くの大学発ベンチャーを生み出してきた東京大学である。協働機関は、世界有数の技術シーズを学際的に融合する筑波大学、世界で戦う製造業と共同研究を行ってきた静岡大学、グローバル女性リーダーを育成するお茶の水女子大学である。この4校でコンソーシアムを形成し、各校で蓄積してきたノウハウを共有し、グローバルな起業家人材を育成する。更に、国立研究機関、企業からの参加者も加え、技術を起点として多様なチームで社会的な課題に挑む。 本プログラムは、基礎編・発展編・実践編からなる。基礎編では学部生を含め起業に興味を持つ人材を増やし、発展編ではメンタリングを中心にチーム演習等で基本スキルの向上を図る。実践編では、選抜チームに対して市場検証を通じて事業計画を投資レベルまで引き上げる。基礎・発展編は、各大学の特色を活かして実施し、実践編はこれらの成果を融合し協働実施する。
Tokai-EDGE (Tongali)プログラム	名古屋大学	岐阜大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、三重大学 (*1)その他協力大学あり	財満 鎮明 (名古屋大学)	東海地区の産学が連携して、自らのアイデアや技術で、世の中に大変革をもたらそうとチャレンジする人材。専門分野における基礎能力と鋭利なマインドセットを基盤として併せ持ち、以下のようなイノベーションをリードするアクションを起こす人材を育成することを目的とする。 現在まで東海地区産学連携大学コンソーシアムが母体となり実施してきたTongaliスクールを拡大する形で、体系的な教育システムを構築する。コースワークとしては、「モチベーション」「マインドセット、スキルセット」「起業実践」「産学連携・オープンイノベーション」「グローバル展開」を実施し、教育と社会実装の両者が実行できる場を提供し、多くの参加者を募り、起業等やる気のある学生には、しっかり育成・支援ができるプログラムを提供する。 これらの教育プログラムを核とし、サステナブルなプラットフォームとなるベンチャーエコシステムを、東海地区に構築していく。
多様性と創造的協働に基づくアントレプレナー育成プログラム (IDEA: Innovation x Diversity x Entrepreneurship Education Alliance)	九州大学	奈良先端科学技術大学院大学、大阪府立大学、立命館大学 (*2)その他協力大学あり	谷口 博文 (九州大学)	本プログラムは、多様性をモノ・コト・サービスへと結晶化して、価値創造と社会変革を導く「次世代グローバルアントレプレナー」育成を目指す。当該目的に向け、個性あるアントレプレナーシップ教育/イノベーター育成プログラムを実践する九州大学、立命館大学、奈良先端科学技術大学院大学、大阪府立大学を中心に、国内外機関の多様な人材育成思想を有機的に融合させ、共創的混ざり合いを同時多発的に創発する「アジア発の次世代グローバルアントレプレナー育成プラットフォーム」を構築する。各大学のEDGE事業を発展・高度化させた先端的プログラムを実施するとともに、九州と関西、さらに海外の学生等が渾然一体となって混ざり、学び合う多層的協働プログラム“Interstate Collaboration Program”及び“Regional Core Program”を展開する。各プログラムはアジア固有のバイタリティと多様性をイノベーションに結実させる創造的協働の可能性を追求し、新たな価値創造と社会変革を導く実践能力構築を基軸に編成する。
EDGE-NEXT 人材育成のための共創エコシステムの形成	早稲田大学	山形大学、滋賀医科大学、東京理科大学 (*3)その他協力大学あり	橋本 周司 (早稲田大学)	EDGEプログラムでの成果を基盤に、コンソーシアム参加大学の強みや国内外の産学官の英知を結集して、「グローバルリーダー」「医工分野」「地域貢献」を体現するアントレプレナーの育成を目指し、挑戦する人材のすそ野拡大に向け「Future-EDGE人材」、実際の起業・新規事業創出に向け「EDGE-NEXT人材」を文理融合で養成する。本事業の特長は、①欧米アジア及び国内へのダイナミックなプログラム展開、②分野特化型と美大との連携によるラピッドプロトタイピング手法を導入したリソーススタートアップ開発、コーチング導入などによる教育プログラム高度化、③学部生などへの受講生裾野拡大と、VC等から大型資金調達を実現するまでの創業支援による出口強化などである。これらの取組を通じて、各機関が世界を惹きつけるアントレプレナー育成拠点(エコシステムハブ)となり、我が国のベンチャー・エコシステム構築に寄与し、「失敗を恐れず、前進する起業文化」の醸成に貢献する。

(*1):大阪大学

(*2):広島大学、福岡大学、崇城大学、立命館アジア太平洋大学

(*3):会津大学、多摩美術大学